過去および現ゼミ生の論文タイトル

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/45164

過去および現ゼミ生の論文タイトル

＜2001年卒業生（第1期生）＞

【卒業論文】

加藤 千佳 「『会う』VS『逢う』 ―漢字から受けるイメージと使い分け―」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2001, pp.37-48)所収

佐渡 智美 「現実と非現実の性差―小説から見えるもの―」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2001, pp.23-35)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23512

＜2002年卒業生（第2期生）＞

【卒業論文】

佐藤 千馨 「日常言語の可能性について」

茅根 滋 「経済的観点から見る日米ヒット曲の歌詞構造とその法則性」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2002, pp.83-96)所収

森 大介 「上手な皮肉の使い方―小泉保の三つの分類から―」

山田 均 「街にあふれるコトバについての考察」

山本 明奈 「学校における呼称」

山本 幸恵 「雑誌の中に見る性差」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2002, pp.97-111)所収

渡辺 敬太 「現代の若者における『やさしい』とは」

上記のうち『学生論集』掲載論文はつぎのサイトでダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23511

＜2005 年卒業生（第 3 期生）＞

【共同論文】

綱田 百合香
山崎 瞳
ユーリア・クールマン（研究留学生）
} 「『生茶』は生か？」

…金沢大学経済学会『学生論集』(2004, pp.1-9)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23510

【卒業論文】

綱田 百合香 「TV ショッピングにおける説得方法の日米比較」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2005, pp.89-101)所収

山崎 瞳 「非言語の壁―美容室でのコミュニケーションから―」
…金沢大学経済学会『学生論集』(2005, pp.15-30)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23509

＜2006 年卒業生（第 4 期生）＞

【共同論文】

磨矢 順子(代表)「しつけ言葉から探る『理想的』人間像」
（平成 16 年度学長奨励費研究）
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.1-26)所収
…『平成 16 年度学長奨励費研究結果論文集』(2006, pp.35-40)所収

【卒業論文】

磨矢 順子 「しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.27-64)所収

＜2007 年卒業生（第 5 期生）＞

【共同論文】

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真利
「ステッカーから見る『物言わぬ日本人』」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 1 巻(2006, pp.65-80)所収

…『平成 17 年度学長奨励費研究結果論文集』第 2 号(2006, pp.44-51)所収
…金沢大学経済学会『学生論集』(2006, pp.1-10)所収

上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/23508

【卒業論文】
小長谷 春奈　「女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 巻(2007, pp.31-46)所収

田中 千尋　「『私、ホントに結婚できるのかしら？』 —『読者』は表紙コピーと会話する—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 巻(2007, pp.47-63)所収

堀田 真莉　「『信頼を裏切り申し訳ありません』 —謝罪会見記事からみる職業と人格—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 2 巻(2007, pp.65-84)所収

＜2009 年卒業生（第 6 期生）＞
【個別研究】
鍵主 智美　「お母さんなわたしと太郎君なぼく —日本語教科書における男女表現について—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 巻(2008, pp.1-17)

鍵主 智美　「『やさしさ』の意味変化 —辞書記述に基づく語義分析—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 3 巻(2008, pp.19-35)

【卒業論文】
鍵主 智美　「国語教科書と日本語教科書の比較 —ジェンダーの視点から—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第 4 巻(2009, pp.1-24)所収

＜2014年卒業生（第7期生）＞

【共同研究】

中村 明修　「金沢市中心街の言語景観 ――観光地・商業地・市役所の調査――」（横田 哲郎・別司 大典との共著）
…金沢大学経済学類社会言語学演習『論文集』第8巻(2013, pp. 1-25)所収

【卒業論文】

中村 明修　「雑誌記事の見出しから見る対象読者による言語使用の違い」
…金沢大学経済学類社会言語学演習『論文集』第9巻(2014, pp. 15-39)所収

＜2015年卒業生（第7期生）＞

【共同研究】

横田 哲郎　「金沢市中心街の言語景観 ――観光地・商業地・市役所の調査――」（中村 明修・別司 大典との共著）
…金沢大学経済学類社会言語学演習『論文集』第8巻(2013, pp. 1-25)所収

【卒業論文】

横田 哲郎　「大学の言語景観――金沢大学・北陸大学・金沢星稜大学からの調査・比較――」

＜2015年卒業生（第8期生）＞

【共同研究】

川崎 明美・川田 諒・佐原 貴寛・田村 隆太・朱 穎
「お菓子にみるネーミングの法則」
…金沢大学経済学類社会言語学演習『論文集』第9巻(2014, pp. 1-14)所収

【卒業論文】

川崎 明美　「ネコキャラクタの役割語『ニャ』にみるキャラ語尾の使用状況」

川田 諒　「ソーシャルゲームに対する行動経済学的アプローチ――人はなぜソーシャルゲームに課金するのか――」

佐原 貴寛　「種類ごとにみる菓子のネーミングの法則」

田村 隆太　「Magic: The Gathering にみる言語価値」

＜2009年修了生（修士課程修了第1期生）＞

【修士論文】

尹 秀美　「夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較 —コンテクスト化の合図という観点から—」
…金沢大学経済学部社会言語学演習『論文集』第4巻(2009, pp. 25-106)

＜2014年修了生（修士課程修了第2期生）＞

【修士論文】

王 一帆　「言語景観における漢字表記 —台北・香港・上海市・北京市の調査から—」

*

【金沢大学経済学部社会言語学演習発行『論文集』】

『論文集』第1巻（2006） 目 次

磨矢 順子
しつけ言葉から探る『理想的』人間像 …… 1

しつけ言葉から探る日本人とドイツ人の行動基準 …… 27

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真利
ステッカーから見る「物言わぬ日本人」 …… 65

『論文集』第2巻（2007） 目 次

小長谷 春奈・佐藤 まりか・田中 千尋・堀田 真利
諸外国との比較から見る「物言わぬ日本人」 …… 1

小長谷 春奈
女性の話し言葉に対する社会の圧力の変化 …… 31

田中 千尋
「私、ホントに結婚できるのかしら？」
—「読者」は表紙コピーと会話する— …… 47

堀田 真利
「信頼を裏切り申し訳ありません」

—謝罪会見記事からみる職業と人格— …… 65

尹 秀美（ユン・スゥミ）
日韓の夫婦間の呼びかけ表現
—先行研究の問題点と今後の展望— …… 85

『論文集』第3巻（2008）　目 次

鍵主 智美
お母さんなわたしと太郎君なぼく
—日本語教科書における男女の表現について— …… 1

鍵主 智美
「やさしさ」の意味変化
—辞書記述に基づく語義分析— …… 19

尹 秀美（ユン・スゥミ）
呼びかけ表現の使用パタンの日韓比較
—インターネットサイト上のメッセージを例に— …… 37

윤 수 미（尹 秀美）
한・일 부부간 직접호칭 표현
［日韓の夫婦間の呼びかけ表現］
—선행연구의 문제점과 앞으로의 전망—
［—先行研究の問題点と今後の展望—］ …… 49

西嶋 義憲
コミュニケーション行動制御慣用表現の日独対照研究のために
—視点の違い— …… 63

『論文集』第4巻（2009）　目 次

鍵主 智美
国語教科書と日本語教科書の比較
—ジェンダーの視点から— …… 1

尹 秀美
夫婦間の呼びかけ表現の日韓比較
—コンテクスト化の合図という観点から— …… 25

『論文集』第5巻（2010）　目次

尹 秀美
話し手責任と聞き手責任
—発話理解における話し手の貢献度の
日韓比較— …… 1

尹 秀美
日本人と韓国人の発話理解の責任主体
—テレビドラマの会話分析に基づいて— …… 21

Sumi YOON（尹 秀美）
Can fillers function as contextualization cues in a Japanese conversation?
—Based on comparison of address terms
in Japanese and Korean— …… 39

『論文集』第6巻（2011）　目次

尹 秀美
謝罪表現における発話理解の責任主体の日韓比較
——英語学習の影響—— …… 1

楊 一林
目上への「ほめ」行動について …… 19

＜資料＞
西嶋 義憲
「お見通し」発言とその翻訳
——資料集—— …… 33

『論文集』第7巻（2012）　目次

孫 羽
曖昧性の視点から日本語の特徴を見る
——曖昧さの下位分類を踏まえて—— …… 1

王 一帆
「こんな名前なら買う！」
——商品の命名に関する日中比較のための予備的考察— …… 27

楊 一林
中国人話者の目上への「ほめ」行動について
——中国人大学生を調査対象として—— …… 39

『論文集』第8巻（2013） 目 次

中村 明修・横田 哲郎・別司 大典
金沢市中心街の言語景観
——観光地・商業地・市役所の調査—— …… 1

王 一帆
言語景観における慣用表現
——台北・香港・上海・北京の比較調査—— …… 27

王 一帆
言語景観としての店名表示
——台北におけるスナック・クラブの調査—— …… 45

＜資料＞
西嶋 義憲
交通標識の日独比較のために …… 57

『論文集』第9巻（2014） 目 次

川崎 明美・川田 諒・佐原 貴寛・田村 隆太・朱 穎
お菓子にみるネーミングの法則 …… 1

中村 明修
雑誌記事の見出しから見る対象読者による言語使用の違い …… 15

＜研究ノート＞
朱 穎
キラキラネームから見た日本人の命名文化の変 …… 41

『論文集』第 10 巻（2015）　目 次

山本 祥子
金沢ことばの観光リソースとしての利用
――北陸新幹線開通にともなう金沢のおもてなしの提案―― …… 1

川崎 明美
ネコキャラクタの役割語「ニャ」にみるキャラ語尾の使用状況 ・ 19

川田 諒
ソーシャルゲームに対する行動経済学的アプローチ
――人はなぜソーシャルゲームに課金するのか―― …… 45

佐原 貴寛
種類ごとにみる菓子のネーミングの法則 …… 63

田村 隆太
Magic: The Gatheringにみる言語価値 …… 81

横田 哲郎
大学の言語景観
――金沢大学・北陸大学・金沢星稜大学からの調査・比較―― ‥ 99

上記『論文集』各巻所収の論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/handle/2297/17070

【他誌掲載論文など】

井 秀美：「呼びかけ表現を好む韓国人、呼びかけ表現を避ける日本人 ―コンテクスト化の合図という観点から―」神山外語大学韓国語学会『韓国語学年報』4，2008，pp. 21-31.

Sumi YOON: "Comparison between Korean and Japanese address terms as contextualization cues in husband-wife's dialogue." *Inquiries into Korean Linguistics Ⅲ*, 2008, pp. 377-387.

Sumi YOON: "Can fillers function as contextualization cues in a Japanese conversation? – Based on comparison of address terms in Japanese and

Korean –." Shizuoka: Paper presented at the 10th Annual International Conference of the Japanese Society for Language Sciences (JSLS), 2008.

Sumi YOON: "A Contrastive Study of Metacommunicative Functions of Address Terms between Husband and Wife in Korea and Japan." *Current Issues in Unity and Diversity of Languages*, 2008, pp. 3819-3831.

Sumi YOON: "Speaker-responsibility and hearer-responsibility: A comparison of speaker's contribution to understanding in a conversation in Japanese and Korean." Kumamoto: Paper presented at the 15th Annual Conference of International Association for Intercultural Communication Studies (IAICS), 2009.

尹 秀美:「話し手責任と聞き手責任—発話理解における話し手の貢献度の日韓比較—」金沢大学大学院人間社会環境研究科「プロジェクト研究を通じた自立的研究者養成」平成21年(2009年)度プロジェクト研究成果報告, 2010, pp. 119-124.

Sumi YOON: "English as Cultural Resource: Influence on Ways of Speaking in Japanese and Korean" 金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』1号, 2011, pp. 103-108.
上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能:
http://crs.w3.kanazawa-u.ac.jp/other/publication.html

尹 秀美:「発話理解における話し手責任の日韓比較—謝罪場面での発話量および表現形式を中心に—」神田外語大学韓国語学会『韓国語学年報』7号 2011, pp. 1-17.
上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能:
http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AA12161738/ISS0000475623_ja.html

Sumi YOON: "Is Korean Really a Listener-Responsible Language like Japanese?: A Contrastive Analysis of Discourse in Apologies between Korean and Japanese" *Acta Linguistica Asiatica*. 1(3), 2011, pp. 73-94.
上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能:
http://revije.ff.uni-lj.si/ala/article/view/35

Sumi YOON: "Who is Responsible for Understanding in a Conversation?: A Contrastive Pragmatic Analysis of Utterances in Japanese and Korean" *Indian Journal of Applied Linguistics (IJAL)*, 38, 2012, pp. 123-142.

尹 秀美：「韓国人夫婦はお互いをどう呼び合うか？―夫が妻を呼ぶ時―」
金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 4 号, 2012, pp. 103-106.

楊 ·林：「中国社会における「ほめ」文化の変容―文化資源学の観点から―」
金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 4 号, 2012, pp. 120-126.

王 ·帆：「言語景観における漢字使用 ―台北・香港・上海市・北京市の調査から」
金沢大学国際文化資源学研究センター『文化資源学研究』第 12 号, 2013, pp. 73-182.
上記論文はつぎのサイトからダウンロード可能：
http://crs.w3.kanazawa-u.ac.jp/other/publication.html

*

【図書】

尹 秀美：*A Contrastive Study of Responsibility for Understanding Utterances between Japanese and Korean.* 東京：ひつじ書房, 2014.

金沢大学社会言語学演習紀要『論文集』

執筆要領（簡略版）

2016 年度版

執筆申込・原稿提出

執筆申込：2016 年 12 月 20 日締め切り
原稿提出：2017 年 2 月 28 日締め切り
刊行：　2017 年 3 月末

日本語の場合

原稿：　Word ファイル
用紙：　A4 横書き
文字：　明朝、Times New Roman
ポイント：12 ポイント
余白：　上 35mm、左右下各 30mm
字数：　36 文字
行数：　36 行
注：　脚注（10 ポイント）
文献：　末尾にまとめる。原則として APA 方式

1 ページ目（タイトル・ページ）

タイトル：　14 ポイント、センタリング、太字
所属と名前：12 ポイント、右寄せ、太字
概要：　500 文字以内
キーワード：5 語以内

2 ページ目（目次ページ）

目次：アラビア数字、階層化

1. ○○
1.1. ○○
1.1.1. ○○

3 ページ目以降（本文）

段落：書き出しは 1 字下げる

論文集 第11巻
2015年度社会言語学演習研究論集
ISSN 2188-6350
2016年3月23日 発行

編集 金沢大学人間社会学域経済学類
社会言語学演習（代表 西嶋 義憲）
発行 金沢大学経済学類
〒920-1192 金沢市角間町
Tel.: 076-264-5428
Fax.: 076-264-5444
E-mail: yotchan@staff.kanazawa-u.ac.jp
印刷 ソノダ印刷株式会社